

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)レジャーリゾート箱根仙石原 新築工事	階数	地上4F
建設地	神奈川県足柄下郡箱根町仙石原大原817-360	構造	RC造
用途地域	第二種低層住居専用地域、法22条指定地域	平均居住人員	44人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2017年3月3日
敷地面積	6,634 m ²	作成者	株式会社淺沼組東京本店一級建築士事務所
建築面積	1,064 m ²	確認日	2017年3月4日
延床面積	2,744 m ²	確認者	株式会社淺沼組東京本店一級建築士事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 箱根におけるベット連れて宿泊可能なリゾートホテルをコンセプトとした。敷地内には宿泊者が共同利用できるドッグランを2箇所設け、1階の客室にはバルコニーから接続する専用のドッグランを設ける計画とした。また建物は林地に囲まれているため、既存の樹木の保存・移植を行い地域の自然維持に努め、自然の中でベットとゆったりと過ごせるリゾートホテルを目指した。	その他 富士箱根伊豆国立公園内であることから建物の全体規模を抑えながら、環境になじむように傾斜地を利用した形状とすることで、客室空間を大きくする計画とした。	
Q1 室内環境 客室界壁をコンクリート造の厚200mmとすることで客室間の音の伝播に配慮した。また化学汚染物質の発生に対してはF☆☆☆☆の建材のみを使用する計画とした。	Q2 サービス性能 客室は全てツインとし、46㎡以上を確保する計画とした。内外装材については、ベットの出入りがあるため、防汚性の高い材料を使用する計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 建物は森に囲まれているため、既存の樹木の保存・移植を行い地域の自然維持に努めた。建物高さは従前建物よりも低く設定し、周辺環境へ配慮した。
LR1 エネルギー 客室にはLow-eガラスを採用し、断熱性の高い断熱材を使用することで外皮性能を高める計画とした。	LR2 資源・マテリアル フロン・ハロンの回避措置として、ODP・GWPの低い断熱材を使用する計画とした。	LR3 敷地外環境 建物高さを抑え日照障害に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される